

中高生がホッとできる居場所「CK ふらっとカフェ」

取組の背景・目的

小川町二丁目児童館は、中高生の利用はあるものの毎回決まったグループでの来館が多く、遊戯室を利用する際にすれ違う程度で、顔見知りになるきっかけが少なく、交流が生まれにくい状況でした。

そこで始めたのが、CK ふらっとカフェです。利用している中高生同士の交流が図れる場を、ハードルを低くして提供したい、職員との関係づくりの場としたい、お互いにふらっとお話ができる場にしたいという思いから、簡単な調理と食事を交えたイベントとして企画しました。このイベントを通して、「児童館が中高生にとっての居場所であること」「いつでもふらっと立ち寄れる場所であること」も併せて周知していきたいと考えています。

「CK ふらっとカフェ」は、初回に中学生が考えてくれた題名です。「C＝中学生・K＝高校生」を表しています。

取組の概要

名称

「CK ふらっとカフェ」

実施場所

小川町二丁目児童館 工作室

実施頻度

毎月第4土曜日 17：30～18：30

申込

なし（中学生は、初回に参加承諾書を提出）

職員体制

2名（常勤1名・非常勤1名）

実施方法

児童館指定管理者の児童館職員が実施

工夫点・留意点

- ・気軽に参加できるよう、調理方法は非常に簡単なものとしています。
- ・中高生自身が作りやすい内容とし、職員は見守りやサポートに徹しています。
- ・中高生が作りたいものを募集しています。中高生向けのノートを作成しました。
- ・みんなでレシピ通りに作ってみて、「もっとこうしたい」等の意見を出し合いコミュニケーションが生まれるようアレンジを話し合います。
- ・保護者の方に、児童館で何をしているのか伝わるよう、初回に「参加承諾書」を提出していただき、併せてアレルギー対応も行っています。
- ・衛生管理を徹底し安心、安全な食材の提供を行います。

取組の効果

これまで違う遊びをしていた中学生と高校生がひとつの空間に集まり、一緒に調理を行う中で、交流が生まれています。「初めまして」から始まり、実は同じ小学校出身であることが分かると、嬉しそうに「先輩ですね！」と声をかけ合う姿が見られました。手を動かしながら、同じものを食べながら会話を重ねることで自然な関係づくりにつながっています。

イベント後には、参加者が児童館で顔を合わせた際には挨拶を交わし、部活動の話題が広がる様子も見られています。

また、職員との交流も深まっています。普段は恥ずかしそうにしている中学生も、作り方を職員と相談する中で、関わりが増え、学校のこと、テスト勉強のこと等について話してくれるようになりました。職員も、調理が好きな子、きっちり分量を測る子など子どもたちの意外な一面を知ることができています。



課題・今後の展開

今後は、調理だけでなく集まったメンバーでボードゲームやカードゲームを行うなど、活動内容の幅を広げていきたいと考えています。調理をきっかけに生まれた関係性を継続し、より安心して過ごせる居場所づくりにつながっていききたいです。

また、「CK ふらっとカフェ」に参加した中高生の様子を見て、「将来この行事に参加したい」と話す小学生もいます。小学生にとって「中高生になる楽しみのひとつ」として期待される行事となりつつあります。小学生から中学生、中学生が高校生になった際に、安心して児童館を利用し続けられるような、つながりの場としても位置づけていきたいと考えています。

さらに高校3年生は、年度末に児童館を卒業するため、CK ふらっとカフェのスペシャルバージョンとして毎年3月には卒業おめでとう会の開催を予定しています。

中学生考案レシピ